

全国牛乳容器環境協議会
第30回-通常総会 次第

2021年 4月22日(木)
15:00 ～ 16:00
乳業会館 3階 B/C会議室

1. 開会
2. 出席人員報告
3. 会長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人選出
6. 議事
 - 1) 議決事項
 - 【 第1号議案 】 2020年度-事業報告 (案)
 - 【 第2号議案 】 2020年度-収支決算 及び 剰余金処分 (案)
 - 【 第3号議案 】 2021年度-事業計画 及び 予算 (案)
 - 【 第4号議案 】 役員選任
 - 2) 報告事項
 - 【 報告事項1 】 2021年度-理事会、四半期-運営委員会、次回-通常総会 日程
 - 【 報告事項2 】 飲料用 紙容器リサイクル協議会・3R推進団体連絡会 活動報告
7. その他
8. 閉会
- ※ ご案内
 - 休憩後 ・ 16時30分頃より 第91回-理事会での役員互選結果を報告。
 - ・ 会長挨拶

以 上

第30回 通常総会

議 題

2021年 4月22日(木)

乳業会館 3階

全国牛乳容器環境協議会

2020年度-事業活動報告

概況

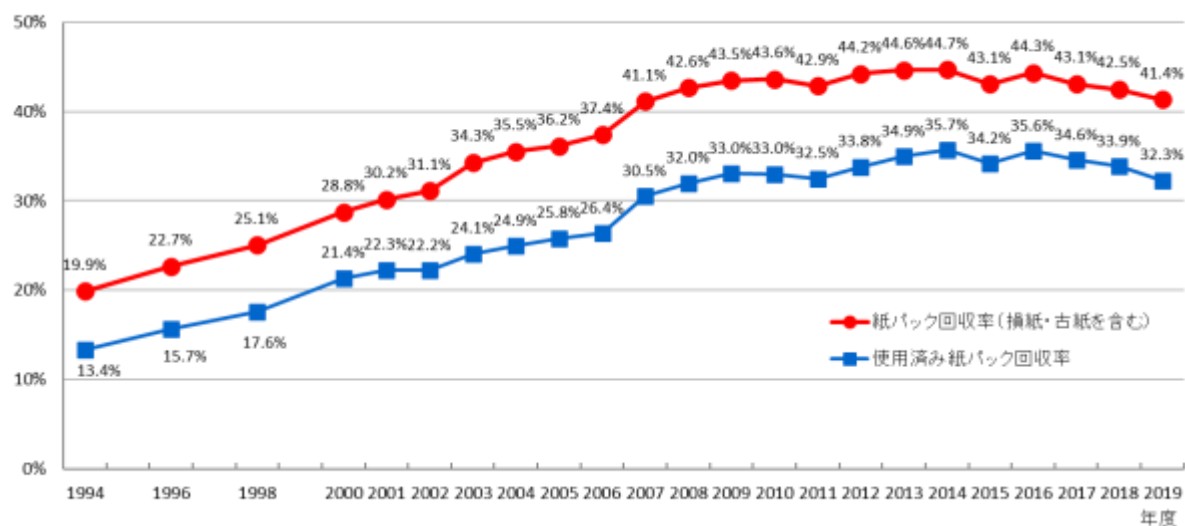
2019年度の紙パック回収率は41.4%、使用済み紙パックの回収率は32.3%と前年より減少しました。店頭回収はほぼ前年並みだったものの、行政回収、集団回収、業務用の回収がいずれも前年割れする結果となりました。

リサイクルインフラを取り巻く状況として、中国の廃棄物輸入規制により国内の資源循環のバランスが崩れ、再生紙価格の低下や紙パックから分離された廃プラスチックの処理費用の上昇などが起こっています。注ぎ口など紙パックに使用されるプラスチックの比率が高まったこともあり、再生紙関係者の紙パックリサイクルについての収支が悪化し、回収意欲の低下へ影響していることが考えられます。また、一般市民においては、プラスチックを中心とした資源循環全般への関心は高まっているものの、バイオマス素材である紙パックは注意を払うべき存在としての優先順位が下がっていることが考えられます。

こうした中で2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、これまで活動の中心においてきた対面でのイベント、出前授業等の啓発活動は軒並み中止とせざるを得ない状況となりました。一方でオンラインの活用について一般の認知度が高まったこともあり、対面とならない啓発ツールの作成やオンラインでできる活動を試行錯誤し、エコプロの代替開催となった「エコスタディールームonline」、「エコライフフェアオンライン」に出展しました。

容環協の企画運営、総務、広報、イベント、支部組織の各委員会は3～5月にかけては新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止としましたが、6月以降オンラインおよびオンライン併用の形での開催をしています。また、会議数削減の試みとして会議の効率化の一つとして、今年度は月次の企画運営委員会と総務委員会・支部組織委員会を同日に開催することとしています。

また、容環協の中期行動計画である「プラン2020」の最終年であることから、2021年度以降の中期行動計画「プラン2025」の策定を行いました。「プラン2025」は2014年をピークに回収率が減少傾向を示していることを踏まえ全面的に見直しました。



※ プラン 2020 行動計画順に記載（添付資料3参照）

1. 回収力を高める場づくり

1.1 ステークホルダー会議などの充実

例年実施している飲料用紙パックリサイクル促進意見交換会を2021年2月にオンラインで開催し、農水省 食品産業環境対策室、経産省 資源循環経済課、経産省 素材産業課、環境省リサイクル推進室の3省4課からの出席を含め、自治体、市民団体、古紙関係者、紙パック関係者、乳業者など59名の参加をいただきました。初のオンライン意見交換会でしたが、オンラインの特性を生かし、普段は参加しにくい遠方からも参加申し込みがあり、活発な意見交換が行われました。いただいた意見は今後の活動に活かしていきます。

1.2 地域特性に応じた地域会議の開催とフォロー

2019年度に台風被害により中止となった紙パックリサイクル促進 地域会議 in 千葉を2021年1月29日に開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受け中止としました。

当初より千葉市の会場からオンラインつなぐ形式の会議を予定していたことから、オンラインのみの開催も模索しましたが、主要な自治体からオンライン参加不可との回答もあったことから今回は中止の判断としました。「ニューノーマル」として今後、オンライン会議が普及していくとも考えられることから普及状況を確認しながらこうした会議の計画をしていきます。

1.3 地域の環境活動などへの参加と情報共有

例年、20か所の地域イベントに対しトイレットペーパーやパネルなど啓発資材の提供を行いましたが、本年度の地域イベントは軒並み中止となり「エコライフはままつ」の1件のみの支援となりました。

新しい取り組みとして川崎市の市民団体（3R推進プロジェクト、グリーンコンシューマーグループかわさき）と川崎市環境局の後押しにより8/19に神奈川県川崎市立東小倉小学校 5年生 84名に対し、出前授業を行いました。「どうや 川崎市立東小倉小学校での授業
ったらリサイクルができるだろうか？」を子供たちに考えさせる、従来とは異なる方法での授業とし、その結果小学生の意思で小学校でのリサイクル開始に繋がりました。こうした事例を積み重ねながら、今後のより良い啓発活動の在り方を検討していきます。



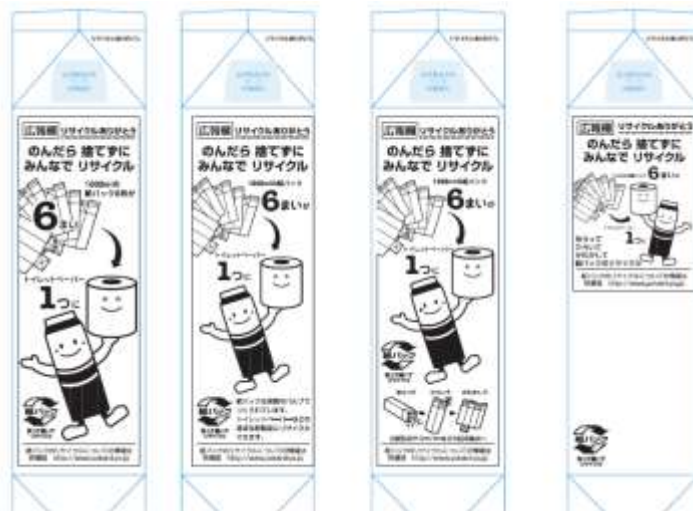
2. 様々な生活の場における回収促進

2.1 生活の場に根ざした回収力向上

東京都民間保育園協会（会員数1200園）に対し回収開始の呼びかけを実施しました。4月に3園を訪問し、実情をヒアリングし東京都民間保育園協会の広報誌に紙パック回収促進の記事を掲載していただきました。

例年通りの環境メッセージ掲載を乳業各社に依頼しました。本年度は新デザインの「牛乳パック6枚でトイレットペーパー1個」作成し、新たに掲載を呼びかけました。

回収ボックスの提供は2021年4月～2021年3月実績216個でした。



3. 教育や学習の場における活動の促進

3.1 教育・学習とリサイクルの協調

1) 紙パックリサイクルを通した環境教育・学習の推進

a) 紙パックリサイクル 出前授業（全国パック連連携）

パック連連携の出前授業は7校程度の実施を見込んでいましたが新型コロナウイルス感染症の影響により停止していました。日本乳業協会が設定しているガイドラインに沿った運用が可能な場合のみ、実施可としており、12月7日に横浜市の上星川小学校にて実施しました。

b) 工作コンクール

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面による活動が制限される中、個人単位でできる取組みとして、第20回「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」に協賛しました。夏休みの短縮等もあり、応募数の減少はありましたが多くの応募が寄せられました。

例年、エコプロで表彰式を実施していますが、本年はエコスタディールームOnlineで表彰作品を紹介しました。



工作コンクール 二次審査の様子

	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
応募作品数（点）	1, 670	2, 316	2, 353	2, 610	3, 089	2, 828	2, 720
参加総数(口数)*	196	239	240	270	292	318	339
参加-都道府県数	36	40	41	41	42	42	39

*小学校応募と個人応募の合計

4. コミュニケーションの充実

4.1 ステークホルダーとの対話と協調

1) さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションの充実

(1) 「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」との連携

a) 啓発ビデオの作成

広い年齢層への啓発ツールとして「マシンガンズ」を起用した動画を作成し、エコスタディールームOnlineにて初公開しました。今後、容環協のウェブサイトへの掲載なども含め、啓発活動に使用していく予定としています。



b) 回収ボックスありがとうキャンペーンの実施

回収ボックスの使用状況をアンケート、回答者から抽選で200名にトイレットペーパー配布キャンペーンを実施しました。

c) 松戸市 冬の消費者教室「牛乳パックリサイクル講習会」出展

2月12日に全国パック連と共催で松戸市冬の消費者教室の中でオンラインによる「牛乳パックリサイクル講習会」を実施しました。

尚、これまで実施してきた全国パック連との連携事業は先方からの申し入れにより2020年度をもって終了することとなりました。

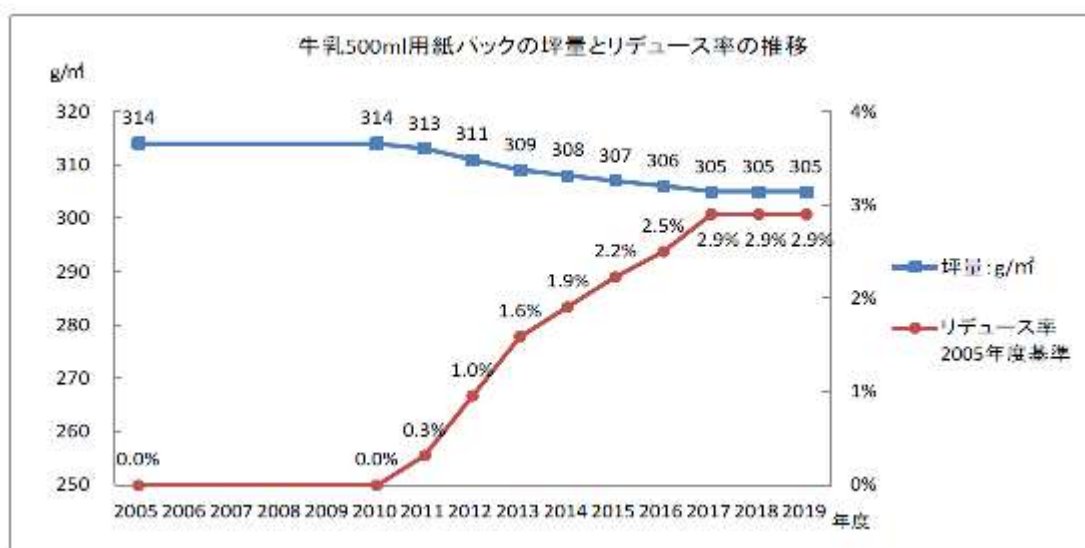
(2) 飲料用紙容器リサイクル協議会（飲紙協）

当協議会の上部組織、容器包装3Rを推進する3R推進団体連絡会を構成する飲紙協が定めたリデュース目標「500ml-牛乳パックの約3%軽量化を2020年度までに達成する」について、乳業メーカー及び容器メーカーで取組んだ結果、

2019年度-リデュース実績値 2.9%（前年 2.9%）

2006年度からの累計削減量 2,434トン（前年まで 2,098 トン）

となりました(下グラフ参照)。



※ 容環協 - 飲紙協 - 3R推進団体連絡会 組織は以下の通り。

● 3R推進団体連絡会（設立：2005年12月）

- 1) ガラスびん3R促進協議会
- 2) PETボトルリサイクル推進協議会
- 3) 紙製容器包装リサイクル推進協議会
- 4) プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
- 5) スチール缶リサイクル協会
- 6) アルミ缶リサイクル協会
- 7) 飲料用紙容器リサイクル協議会（飲紙協）
- 8) 段ボールリサイクル協議会

● 飲料用紙容器リサイクル協議会(1997年3月)

- 1) 全国牛乳容器環境協議会(1992年8月)
- 2) 一般社団法人 全国清涼飲料連合会
- 3) 一般社団法人 日本果汁協会
- 4) 一般社団法人 全国発酵乳乳酸菌飲料協会
- 5) 酒類紙製容器包装リサイクル連絡会
- 6) 印刷工業会液体カートン部会

(3) 3R推進団体連絡会（飲紙協事務局として）

意見交換会(函館市)、市民リーダー育成事業（乳業会館、町田市）、3R推進フォーラム（2月にオンライン開催）等の行事に参加。

(4) 紙製容器包装リサイクル推進協議会

雑がみ中に混じる紙パック量のデータ取得のため、例年、紙製容器包装リサイクル推進協議会が実施する組成調査に参加していますが、本年は中止となりました。

(5) 市民への直接啓発

紙パックの可燃ごみへの排出防止をねらいとして、昨年度の町田市に続き、今年度は三鷹市有料ごみ袋の外装袋に広告を掲載。八王子にも2月に申し込みを行い、2021年度の家庭用可燃ごみ20リットル袋約120万組、おむつ袋10リットル、20リットル袋計約24万組に掲載する予定です。



三鷹市有料ごみ袋外装袋

4.3 様々なイベント等への参画

1) 環境イベントへの参画によるコミュニケーション

「エコライフ・フェア」は「エコライフフェア2020オンライン」に、「エコプロ」はSDGsWeekOnline「エコスタディールームonline」として代替開催となりました。オンラインライブセミナー等、今後を見据えた新しい形の啓発活動となりました。

(1) エコライフ・フェア2020 オンライン

◇ 開催日： 2020年12月19日(土)～2021年1月17日(日)

◇ 主催： 環境省

エコライフフェア全体へのアクセス数 64,266 (Unique User)

容環協エリアへのアクセス者数 298

(2) SDGsWeekOnline「エコスタディールームonline」

- ◇ 開催日； 2020年11月25日(水)～28日(土) 4日間
- ◇ アーカイブ公開；2020年12月25日(金)まで
- ◇ 主催； (一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

エコスタディールーム全体へのアクセス数 6,466

3R推進団体連絡会ページへのアクセス数 1,502

動画

牛乳パックン探検隊 44

もったいない、牛乳パックは捨てないで 368

紙パックの手開きみんなでやってみよ～ 78

牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール審査結果 97

3R推進団体連絡会として「エコスタディールームonline」に参加。主催者ライブセミナーとして伊藤事務局長が講演した他、3R推進団体連絡会ブース内でマシンガンズ動画、手開き説明のセミナー、容環協活動ダイジェストのスライドショー(動画)を出展しました。



4.4 インターネットなどによるコミュニケーション

1) ホームページの拡充

スマートフォンでのアクセスの増加への対応としてレスポンシブデザイン(画面サイズによる画面構成の自動切換え)化、スマートフォンでの見やすさ向上のための改訂を実施しています。2021年4月から容環協のすべてのページをスマートフォン対応とする予定です。



現行画面



改訂後のスマートフォン

2) インターネットメディアの活用

フィーチャーホン(ガラケー)対応のため画質を落としていた手開き動画の解像度アップを実施しました。

3) 調査分析活動と情報提供

(1) 基本調査

2019年度-紙パック回収率 調査結果

紙パック回収率（損紙・古紙含む）	41.4%（前年度 42.5%）
使用済み紙パック 回収率	32.3%（前年度 33.9%）

(2) 紙パックリサイクル 年次報告書の発行

「紙パックリサイクル 年次報告書」は、2021年1月に発行しました。また、配布しやすい形態として簡易版（8ページ）を作成しました。

以 上



2021 年 4 月 7 日

会 員 各 位

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

代表 平井 成子

全国牛乳容器環境協議会との連携解消についてのご報告

拝啓、時下ご清祥のことと存じます。

平素より、牛乳パック再利用活動への深いご理解、ご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、2002 年より全国牛乳容器環境協議会（以下、容環協）からの協力要請を受け、18 年間にわたり「連携」という形で牛乳パックリサイクル促進地域会議、回収ボックス配布事業、牛乳パックリサイクル出前授業・講習会、リサイクル促進キャンペーン、紙パック回収システム強化研究会、受け入れ製紙メーカーとの意見交換会、各種啓発冊子の発行など様々な啓発活動を提案し、協働、時には先導しながら活動を展開してまいりましたが、下記の経緯により、2021 年度以降容環協の連携を解消することといたしました。

連携は信頼関係の上で成り立つものであり、長年ご理解ご協力をいただいている容環協専門委員の方がいる中で、現常務及び一部の四半期委員会委員、専門委員の当会が進める事業への不当な言動に対し抗議を込めての解消となります。

また、連携解消理由を代表である私の健康上の理由とする誤った情報を容環協事務局が流していることもわかり、改めて会員の皆さまに正確な経緯をご報告申し上げることといたしました。

敬具

記

1. 容環協総会で承認され、第 1 四半期運営委員会で原案通りの承認を経て、6 月 1 日付けで、容環協会長印、パック連代表印を押印して契約を取り交わした動画制作事業に対し（前任常務現顧問の後藤氏・伊藤事務局長は確認済み）、7 月 27 日の遠藤・伊藤・後藤・平井 4 者の協議の際、現常務遠藤氏が、詳細が全くわからない、300 万円以上の事業は四半期委員会で稟議にかけると発言。

稟議にかける手続きは容環協内部のルールであり、当会はすでに契約を交わしていることから、動画制作のスケジュールを進めるべく準備をしていた。

（裏面へつづく）

2. 7/27 の協議以前に、動画制作について具体的に撮影日や台本、使用するタレントの所属事務所との契約内容なども提示し、予定通り進める方向でメールもやりとりしており、現常務へも CC で送付していた。進行状況を確認しているはずでありながら、着任して以降、一切動画制作事業に関する問い合わせ・確認の電話もメールも、何の指示もなく、さらに 7/27 協議を終えてもなお 8/8 に、遠藤氏からのメールにはまだ正式決定ではないと、制作を止めるかのような内容で念押しをしてきた。
しかしそれ以降、全く直接のコンタクトがないことも経緯に加えておきたい。
3. 契約を交わしている動画制作事業に対し、四半期委員会の委員から、SDGS の軸の一つとなっているダイバシティに全く反するような「三流芸人に何ができるか」「リサイクルについて芸人なんかにおかしなことを言われて困る」などの発言や「費用対効果を出せ」などの発言により、「条件付き事業承認」で承認されたという、連携開始以来かつてない失礼きわまりない回答をしてきた。
4. 牛乳パック再利用マーク促進協議会と共同でエコプロ出展を依頼してきたのが容環協であるにもかかわらず、9/15 の未編集動画に対する意見集約の中で、回収した牛乳パックを再生した製品の目印マークである「牛乳パック再利用マーク」に対し、容環協として押していくのであれば、使用割合を明確に示すというガイドラインに沿って検討の必要があるのではないか、という当会独自事業へのいわれのない意見が記載されていた。
5. 最終的な意見集約についても、制作側であり連携団体である当会に何の打診もなく一方的に編集カット部分を指定してきた。
6. こうした対応を受け、来年度の連携解消を 9 月下旬に申し入れたところ、10/15 に遊ぶ学部コンクールの第一次審査のため乳業会館に出向いた際、ついでのように遠藤氏より協議の時間を割いてほしい旨告げられた。
遠藤・伊藤・平井三者による協議では、当会から来年度以降の連携解消はパック連において決定したことを告げ、その理由の一つとして、動画制作を進めているにもかかわらず、遠藤氏が四半期委員会に稟議にかけるという容環協内部の都合を押し付けてきた一件をあげたところ、遠藤氏は、それは容環協のルールなのでという回答。
双方で会長・代表印を押印した契約を交わしており、それに沿って事業を進めていくのは当然のことであると返すと、「そうであれば本来 6 月に契約書を交わしてはいけなかった、契約の取り交しの前に四半期委員会を開いて、決議にかけるべきだった」と、自分が一切契約に携わっていないがごとくに発言。
7. 動画制作がパック連による全面プロデュースにもかかわらず、容環協の年次報告には「全国パック連と協力し斬新な動画を制作」と容環協が主体であるかのように記載されており、この原稿内容についても一切当会への確認がなかった。

以上

2020年度 会計収支決算書

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

〔収入の部〕				(単位:円)
科 目	予算額	決算額	差引	摘 要
繰越金	31,799,727	—	—	
拠 出 金	66,876,000	66,556,056	319,944	事務局請求漏れ1件 289,500円 未収3会員 30,000円 手数料未納1件 552円 過年度拠出金 ▲108円
その他事業収入	1,800,000	3,437,415	-1,637,415	牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコン クール協賛金(乳協) 1,000千円 (株)明治環境キャンペーン 2,437,415円
雑 収 入	0	0	0	
収入合計	68,676,000	69,993,471	-1,317,471	
〔支出の部〕				
事業費	56,126,000	45,234,035	10,891,965	
事務費	12,550,000	11,872,637	677,363	
支出合計	68,676,000	57,106,672	11,569,328	
差引収支差額	0	12,886,799	-12,886,799	
剰余金	—	44,686,526	—	(通常総会にて審議)

（単位：円）

〔支出の部 ①事業費〕

科 目	予算額	決算額	差引	摘 要
事 業 費	56,126,000	45,234,035	10,891,965	
1. 普及・啓発 事業費	24,940,000	18,619,754	6,320,246	1. 消費者啓発費 ・エコプロオンライン出展 ・年次報告書発行 ・ホームページ拡充 2. 小中学生啓発費 ・「遊ぶ・学ぶ」コンクール 協賛（乳協分含む） ・出前授業 3. 共通啓発費 ・マシンガンズ啓発動画 制作等
2. 回収促進 事業費	6,876,000	3,415,007	3,460,993	1. 地域による回収率向上 ・リサイクル講習会 2. 回収拠点拡大事業 ・回収ボックス製作、配付、管理 3. 組織強化事業 ・支部組織強化対策 ・飲料用紙パック回収システム強化研究会
3. 3R推進団体 連絡会事業費	2,000,000	1,715,000	285,000	飲料用紙容器リサイクル協議会 負担金
4. NPO支援 事業費	5,560,000	6,011,843	-451,843	1. 全国ボックス連賛助会費 2. 環境キャンペーン用ボックスステイション （リサイクル製品利用促進）
5. 企画・調査 事業費	15,150,000	14,981,600	168,400	1. 飲料用紙容器リサイクルの現状と 動向に関する基本調査報告書 2. 行動計画「プラン2020」補完調査 3. 時期行動計画「プラン2025」WG
6. 旅 費	800,000	17,681	782,319	出張・外勤旅費
7. 会 議 費	600,000	473,150	126,850	専門委員会会場費他
8. 交 際 費	200,000	0	200,000	

〔支出の部 ②事務費〕

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 引	摘 要
事 務 費	12,550,000	11,872,637	677,363	
委 託 費	11,000,000	11,000,000	0	（一社）日本乳業協会委託費
通信運搬費	700,000	380,841	319,159	郵便・宅配便、 メールアドレス
印刷製本費	110,000	19,910	90,090	コピー機使用料
旅費交通費	60,000	0	60,000	電車、バス、タクシー代
消 耗 品 費	80,000	54,508	25,492	コピー用紙、文具費、名刺等
備 品 費	20,000	15,278	4,722	スピーカーマイク、三脚など
手 数 料	120,000	105,600	14,400	振込手数料・web手数料、 システム使用料
雑 費	50,000	0	50,000	－
広告宣伝費	90,000	71,500	18,500	業界誌広告掲載費 2件
諸 会 費	210,000	210,000	0	1. 集めて使うリサイクル協会 2. 3R活動推進フォーラム 3. 東京都リサイクル事業協会
交 際 費	40,000	0	40,000	事業に直接関わらない費用
租 税 公 課	20,000	15,000	5,000	収入印紙代
予 備 費	50,000	0	50,000	共通予備費

貸 借 対 照 表

2021年3月31日現在

〔資 産 の 部〕

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
流動資産計	44,686,526	
現金	32,048	
普通預金	39,383,792	預入先:みずほ銀行麴町支店
貯蔵品	5,270,686	書籍「紙/バック宣言」、BOXティッシュ、回収ボックス(通常サイズ、1/2サイズ)、トイレトペーパー
固定資産計	0	
資 産 合 計	44,686,526	(A)

〔負 債 の 部〕

科 目	金 額	摘 要
流動負債計	0	
預かり金	0	
固定負債計	0	
負 債 合 計	0	(B)

〔正味財産の部〕

正味財産合計	44,686,526	(A)-(B)
--------	------------	---------

負債及び正味財産合計	44,686,526	
------------	------------	--

上記の通りであります。

監査の結果、正確なることを認めます。

2021年4月12日

監 事 竹内武臣 監 事 木下善文 

2020年度 剰余金処分（案）

2020年度 剰余金	金 額	44,686,526円
------------	-----	-------------

これを次の通り処分する。

2021年度 繰越金	金 額	44,686,526円
------------	-----	-------------

以 上

2021年度-事業計画及び 収支予算(案)

前の自主行動計画「プラン2020」から全面的に改定した「プラン 2025」を念頭に回収率50%以上 を目指し、4つの委員会の活動を全面的に見直していきます。

【1】事業収入

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限の影響もあり繰越金が約1,300万円増加となる見込みです。また2021年度の拠出金は前年並みの見込みです。

【2】事業計画

（1）前年度の事業計画からの変更にあつた事項

①プラン2025の策定（別添資料）

次期中期行動計画「プラン2025」を策定し、今後の5年間は「プラン2025」に沿った活動を展開していくこととしました。「プラン2020」実行期間中の課題として「若年層への情報発信」、「環境教育の更なる充実」、「紙パック回収インフラの地域差解消」、「古紙相場変動対策」「プラスチックの処理」、「再生品の安定需要」などが挙げられ、それらの解決手段として以下の5本の柱を設定し取り組むこととしました。

②全国パック連との連携事業終了

全国パック連様からの申し出により、2020年度をもって全国パック連との連携事業を終了することとなりました。これまで実施してきた連携事業は全面的に見直すこととしました。

③新型コロナウイルス感染症拡大

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けエコプロ、エコライフフェア、地域イベント等は2020年度には中止もしくは縮小開催となりました。2021年度も不透明な状況ですが、計画段階では2019年度と同様の規模で行われることを前提に計画することとしました。

（2）2021年度事業計画

①紙パックリサイクルの現状把握、ステークホルダーとのコミュニケーション

i) 回収量調査

これまで通り、紙パック回収率の調査を実施します。これまで紙パック回収率調査を委託してきた（株）エコイプスが解散したため、委託先をダイナックス都市環境研究所（株）に変更します。

ii) 再生紙メーカーなどバリューチェーンとの意見交換

紙パックをとりまく状況についての理解を深めるため、オンラインの活用も

図りながら古紙再生関係業者、市民団体などと直接対話の場を増やしていきます。

②回収率向上のための啓発活動

i) デジタルメディアの活用

若年層の紙パック回収の意識は若者世代で最も低いという結果になっています。新型コロナウイルスの拡大もあり、対面に代わる啓発活動としてデジタルメディアの使用を検討していきます。

ii) 環境リーダーの発掘や活動支援

リサイクル講習会や出前授業は活動対象母数（日本の人口）に対し受講者数は限られ、普及は限界となっています。地域での活動拠点となりうる方を支援することで活動の輪を広げていくことを検討していきます。

③紙パックの回収・再生インフラの整備支援

i) 回収場所の情報整備と提供

回収インフラの整備を進める上で必要な情報を地図上に集約、見える化することで、今後のインフラ整備の戦略的な活動につなげて行きます。まずは市町村における紙パックの分別収集方法を見える化することから始めます。

ii) ラミネートプラスチックリサイクルの調査・研究

これまで紙パックの紙部分だけをリサイクル対象としてきましたが、プラ部分の処理も問題とされる場合が出てきたことを鑑み、プラ部分のリサイクルを検討していきます。

④次世代を担う子供たちの環境マインド向上

i) 学乳パックリサイクルの促進

学校現場での紙パック回収率が減少傾向となっています。学乳を環境教材としての使用促進を図ることで、将来の循環型経済の構築に回収率につなげていきます。

⑤活動の理解促進、活動の公表と評価

i) 年次報告書、ホームページの充実

活動をより分かりやすく公表し、意見をいただくことで活動の改善に役立てていきます。

(3) その他

①後藤顧問との委託契約

後藤顧問と顧問委嘱を継続した上でプラン2025新規事業の立ち上げ業務について委託契約を締結することとします。

②事務費

予算執行状況をより透明化するため会計システムの改変を計画します。

以上

取扱注意

2021年度 予算(案)

収入の部				(単位:円)				
科 目				2021年度予算(案)		2020年度計画		前年度差
繰越金				44,686,526	2020決算見込剰余金が全額繰り越しとなった場合		31,799,727	-
拠出金				66,852,000	▲24千円		66,876,000	▲ 24,000
(うち過年度拠出金)				(289444)	(2020年度未収分)		-	-
その他事業収入				3,400,000	+1,600千円 前年並みで仮置き		1,800,000	1,600,000
雑収入				0			0	0
当年度収入合計				70,252,000	+1,576千円		68,676,000	1,576,000
収入合計				114,938,526	(+6,924千円)		100,475,727	-
支出の部								
科 目		内 訳		2021年度予算(案)		2020年度計画		前年度差
支出合計				75,600,000	(+6,924千円) ※プラン2025対応費+7,000千円反映		68,676,000	6,924,000
【1】事業費				62,100,000	(+5,974千円)		56,126,000	(▲2,204千円) 5,974,000
1. 普及啓発事業費				25,000,000	(+60千円)		24,940,000	(▲175千円) 60,000
	①消費者啓発	・エコプロ		8,000,000	実開催、オンライン開催併用と想定		8,000,000	▲200千円 0
		・自治体等環境イベント	エコライフフェアほか	700,000	出展費用、牛乳他、備品、視察費等		700,000	▲30千円 0
		・ホームページ拡充等		2,000,000	HP改修費(スマホ化)、自治体広告費(八王子、三鷹他)等		2,000,000	+150千円 0
		・年次報告書	英語版含む	4,000,000	前年同額を計上		4,000,000	▲550千円 0
	②小中学生啓発	・遊ぶ学ぶコンクール協賛	バック意匠含む	6,000,000	+200千円 実開催、オンライン併用想定で微増		5,800,000	+300千円 200,000
		・出前授業	紙バック宣言配布含む	300,000	▲2,140千円 連携解消により実費分300千円のみ計上		2,440,000	+40千円 ▲ 2,140,000
	③共通	・啓発冊子・チラシ類作成増刷	作成費 保管料運搬料	4,000,000	+2,000千円 オンラインコンテンツ作成など大幅増を見込む		2,000,000	+115千円 2,000,000
2. 回収促進事業費				6,400,000	(▲476千円)		6,876,000	(▲289千円) ▲ 476,000
	①地域回収率向上事業	・地域会議		700,000	千葉で開催検討 会場費、ファシリテータ費		700,000	+300千円 0
		・リサイクル講習会		300,000	▲340千円 連携解消により実費分300千円のみ計上		640,000	+40千円 ▲ 340,000
	②回収拠点拡大事業	・回収ボックス製作、配付、管理費	回収ボックス(ハーフ)	200,000	全在庫配布を目指す		200,000	▲50千円 0
			回収ボックス(通常)	1,500,000	400個配布(@3672×400)		1,500,000	+885千円 0
			保管費、運搬費	650,000	実績勘案、新規作成分考慮		650,000	+50千円 0
		・全国20事例集		50,000	第5集作成準備費用 (取材費等)		50,000	第5集作成準備費用 0
		・拠点拡大大フォロワーアップ	回収拠点フォローアップ	300,000	▲420千円 連携解消により実費分300千円のみ計上		720,000	+370千円 ▲ 420,000
			ステークホルダー意見交換会	400,000	前年同額を計上		400,000	前年同額を計上 0
			再生紙メーカー情報交換	500,000	富士市で開催検討		500,000	+500千円 0
	③組織強化事業	・支部組織強化対策	トイレットペーパー運搬費・保管費	500,000	+50千円 オンラインイベント等で配布増を想定		450,000	+50千円 50,000
			アンケート集計他	1,000,000	+850千円 地域環境リーダー活動支援		150,000	▲150千円 850,000
		・回収率アップ調査費	組成調査、強化研究会他	300,000	▲616千円 組成調査および勉強会実施・参加など		916,000	▲2,284千円 ▲ 616,000
3. 3R促進事業費				2,000,000	(±0) 前年同額を計上		2,000,000	(▲10千円) 0
	①飲紙協		飲紙協負担金	2,000,000	▲10千円 飲紙協負担金算出方法変更による		2,000,000	▲10千円 0
4. NPO等支援事業費 (市民・行政・事業者の連携強化)				3,050,000	(▲2,510千円)		5,560,000	(+700千円) ▲ 2,510,000
	①賛助会費	・全国バック連、バックマーク促進協		200,000	▲2,810千円 連携解消により減額(P連150、Rマーク10他)		3,010,000	実績勘案 ▲ 2,810,000
	②全国バック連	・回収BOX管理費		650,000	実績勘案		650,000	実績勘案 0
		・環の縁結びF協賛金		0	▲1,050千円 実施無し		1,050,000	協賛金および諸費用 ▲ 1,050,000
	③リサイクル製品促進	・ボックスティッシュ製作、配付、管理費	ボックスティッシュ	2,000,000	+1,300千円 実績勘案		700,000	+650千円 1,300,000
運搬費、保管費			200,000	+50千円 実績勘案		150,000	+50千円 50,000	
5. 企画・調査事業費				17,050,000	(+1,900千円)		15,150,000	(▲2,430千円) 1,900,000
	① 基本調査			12,000,000	+1,200千円 調査会社変更による経費増考慮		10,800,000	実績勘案 1,200,000
	② 行動計画関連調査			4,000,000	+700千円 回収インフラ見える化関連調査費考慮		3,300,000	+1,100千円 700,000
	③ 古紙原料問屋調査			1,000,000	実績勘案		1,000,000	実績勘案 0
	④ 海外視察調査			0	海外視察予定なし		0	▲3,500千円 0
	⑤ 国際連携費	・諸外国情報交換他		50,000	前年同額を計上		50,000	▲30千円 0
6. 旅費交通費 上記1ー5の事業に関わる旅費				800,000	(±0) 市町村訪問、各種調査、イベントなど出張再開を見込む		800,000	(+100千円) 0
7. 会議費 上記1ー5の事業に関わる会議費(会場費等)				600,000	(±0) 実績勘案		600,000	(▲100千円) 0
8. 交際費 上記1ー5の事業に関わる交際費				200,000	(±0) 前年同額を計上		200,000	(±0) 実績勘案 0
9. プラン2025対応費				7,000,000	(+7, 000千円)		-	-
	①プラン2025遂行のための委託費用			5,000,000	+5,000千円 プラン20025遂行に係る業務委託費		0	前年同額を計上 5,000,000
	②予備費			2,000,000	+2,000千円 各委員会向け予備費		0	前年同額を計上 2,000,000
【2】事務費				13,500,000	(+950千円)		12,550,000	(±0) 950,000
	①事務経費			12,500,000	前年同額を計上		12,500,000	前年同額を計上 0
	②予備費			1,000,000	+950千円 予算管理負荷軽減対策、各種オンラインツール購入など		50,000	前年同額を計上 950,000
当年度収入合計-支出合計				▲ 5,348,000			0	
剰余金				39,338,526	見込		31,799,727	※4-3決算 44,686526

プラン2025 アクションプラン(2021年度)案			2021年3月10日版		全国牛乳容器環境協議会
行動計画の目的 :	新規 取組	専門 委員会	2021年度実施内容案	目標・管理項目	目的・活動内容(修正案) A:必ず実施 B:できるだけ実施 C:できたら実施
1. 紙パックリサイクルの現状把握。ステークホルダーとのコミュニケーション					
1.1 基本調査		総務	紙パック回収率調査を実施する	①調査内容を確認する ②成果物を受領する	(A)ダイナックス都市環境研究所に外注する。他の古紙といっしょにリサイクルされる量は回収率に加える。
1.1 容環協活動の評価	○	総務	満足度評価のためのアンケート方法の決定	①評価方法を決定する ②自己評価を実施する ③第3者評価を実施する	(A)活動評価の指標を決め、現状を評価する。第3者評価のやり方を決め、1・3・5年目で実施する。
1.2 意見交換会		総務	意見交換会の実施(年1回)	①意見交換会を実施する	(B)発言のあった主なステークホルダーとは別途ヒアリングの機会を設け深掘する。 (A)意見交換会でいただいた意見を整理し、その対応について翌年の意見交換会で報告する。
1.3 再生紙メーカーなどバリューチェーンとの意見交換		総務	再生紙メーカー見学会の実施	①見学会を実施する(1回以上)	(A)賛助会員企業各社とオンラインを活用し個別ヒアリングを実施し、再生上の課題を把握する。
1.4 講演会・勉強会	○	総務	最新のリサイクル技術について知識向上	①講演会を実施する	(C)最新のリサイクル技術について識者による講演会を行う。他団体にも案内し交流のきっかけとする。
2 回収率向上のための啓発活動					紙パック回収に協力してくれる人を増やす
2.1 イベントへの出展や参加、支援		イベント	エコプロ・エコライフフェア	①ブース来場者数(〇〇人)	(B)エコプロ、エコライフフェアなど大型イベントにはこれまで通り出展する。出展に際しては目的を明確として目的に則した構成とする。
2.2 デジタルメディアの活用	○	イベント・広報	デジタルコンテンツの作成(動画、オンラインスタディなど)	①作成コンテンツアクセス数総合計(〇〇アクセス) ②作成コンテンツ数(〇〇件)	(A)啓発内容を見直し更新する。 (C)オンライン展示会を念頭に動画等のの活用を検討、模索していく。
	○	イベント・広報	SNS等のメディア研究	①トライアルを実施する	(C)Line, Twitter, Instagram, Facebookなど様々なデジタルメディアについて研究し活用を目指す。
2.3 各種メディアの活用		広報	紙パックへの環境メッセージ表示、ごみ袋等への広告掲載	①環境メッセージ表示総パック数	(B)紙パックリサイクルについて広く啓発する。
		広報	広報資料の新規作成・改訂	①容環協パンフレットの作成	(B)啓発内容を見直し更新する。
2.4環境リーダーの発掘や活動支援	○	支部組織	リーダー講習用マニュアルの作成	①環境リーダー支援パッケージを完成させる ②支援者の活動回数 ③容環協活動に協賛してくれるリーダーの数	(A)出前授業、リサイクル講習会に変わる取組みとしてリーダー育成を行うこととし、リーダーのためのマニュアルを作成する。 (C)リーダーがつながるネットワークやプラットフォームを形成し、見える化により啓発活動の情報を共有しながら、学びや気づきを振り返る。 (C)中高生をリーダーも検討する。
	○	支部組織	地域の地球環境リーダーの発掘、育成	①地球環境リーダーの育成人数	
		支部組織	地域イベント	①ブース来場者数 ②総回数	(B)リーダー支援、リーダー発掘の場とする。
			新規団体・外食産業の開拓	開拓の成果を評価し、継続の有無を判断する	(C)成功事例を共有化する

プラン2025 アクションプラン(2021年度)案			2021年3月10日版		全国牛乳容器環境協議会
行動計画の目的 :	新規 取組	専門 委員会	2021年度実施内容案	目標・管理項目	目的・活動内容(修正案) A:必ず実施 B:できるだけ実施 C:できたら実施
3 紙パックの回収・再生インフラの整備支援					日本全国誰でもが紙パックをリサイクルできるルートの整備を支援する
3.1 回収場所の情報整備と提供	○	総務	区市町村別紙パック回収区分の見える化	①全国区市町村の紙パック行政回収区分を類型化し色分け地図を作成する	(A)基本調査に織り込む.情報整理を ダイナックス都市環境研究所に検討依頼
	○	総務	古紙問屋・再生紙メーカーリストの作成	①全国の紙パック再生紙工場、古紙問屋、古紙回収業者をリスト化するとともに地図上に表示する	(A)基本調査における古紙回収業者への質問事項の追加をダイナックス都市環境研究所に検討依頼
	○	総務	集団回収・店頭回収場所調査	①紙パックの店頭回収場所・集団回収場所情報を収集し公開できる仕組みを検討する。	(C)一般市民の情報交換の場を提供していく(Googleマップへ記録したものの共有化など)→ ダイナックス都市環境研究所に検討依頼
3.2 回収力の弱い地域の回収ルート構築支援		総務	地域会議	①千葉で開催する	(B)地域会議により回収力の弱い地域の課題を探り、改善を支援していく。
		総務	新たな回収ルート作成支援	①回収率の低い行政での回収ルート作成を支援する	(C)アンケートやヒアリングにより阻害因子を抽出し、容環協として支援できることがあれば対応する。 例えば広島はヤードの置き場が少ないというので、物的支援で解決できないか、など。
		イベント	出前授業・オンライン講習会	①オンライン出前授業のプログラムを作成し実施する	(C)回収力向上に結び付けられることを前提に、必要に応じ実施する。 (B)負担減のためオンライン授業のプログラムを作成する(一方的なら動画化、双方向なら複数校を結ぶなどのアイデアを導入)
3.3ラミネートプラスチックリサイクルの調査・研究	○	総務	ラミネートポリの処理方法の検討		(B)ラミネートポリのリサイクルについて情報を収集し、ラミネートプラの処理の可能性を調査・研究する。
4 次世代を担う子供たちの環境マインド向上					持続可能な回収力向上のため、子どもたちの紙パックへの理解を深める
4.1 環境教育活動		イベント	牛乳紙パックで「遊ぶ学ぶ」コンクール		(B)「牛乳パックで遊ぶ学ぶコンクール」の回収率向上についての位置づけを明確にした上で実施する。
		イベント・支部組織			これまで実施している対面出前授業は実施しない(やるなら3.2に位置づける)。
4.2 学乳パックリサイクルの促進		総務		リサイクルの取組みを開始した学校数	(B)事例の収集と資料化、 (C)事例の水平展開 (C)各都道府県の学乳パック処理状況の把握(基本調査のアウトプットに加える)
5活動への理解促進、活動の公表と評価					活動をレビューするとともに、公表しステークホルダーの共感を得る
5.1 年次報告書等による容環協活動の公表		広報	年次報告書の作成	①年1回発行する	(A)容環協の1年間の活動をまとめ公表する。外部ステークホルダーへの情報提供と課題の掘り起こしを行う。

全国牛乳容器環境協議会 役員候補

	役職	氏名	所属・役職
1	理事	原田 裕司	(株) 明治 常務執行役員 生産本部長
2	理事	草野 茂実	森永乳業(株) 常務取締役
3	理事	井上 剛彦	雪印メグミルク(株) 取締役常務執行役員
4	理事	上田 晃司	日本テトラパック(株) 取締役副社長 営業統括
5	理事	大林 保仁	日本製紙(株) 常務執行役員 紙パック営業本部長
6	理事	遠藤 雅人	一般社団法人 日本乳業協会 常務理事
7	理事	坂口 光一	一般社団法人 日本乳業協会 専務理事
8	理事	丸山 章	全国乳業協同組合連合会 専務理事
9	理事	林 雅典	一般社団法人 Jミルク コミュニケーショングループ 部長
10	理事	松久 浩二	よつ葉乳業(株) 常務取締役
11	理事	佐伯 吾郎	西武酪農乳業(株) 代表取締役社長
12	理事	川口 稔	北越パッケージ(株) 取締役 営業本部長
13	理事	田村 亮一	石塚王子ペーパーパッケージング(株) 代表取締役社長
14	理事	新居 善次	凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 第一営業本部長
15	理事	山内 正己	東京製紙(株) 容器事業部長
1	監事	木下 善文	大日本印刷(株) 包装事業部 副事業部長
2	監事	竹内 武臣	協同乳業(株) 取締役

2021年度- 理事会、通常総会、四半期-運営委員会 日程（案）

理事会・通常総会

開催日時	会議名	開催場所
2021年_4月22日(木) 14時	第90回-理事会 第30回-通常総会 第91回-理事会	乳業会館 3階 A会議室 乳業会館 3階 B/C会議室
2021年12月16日(木) 15時30分	第91回-理事会	乳業会館 3階 B会議室
2022年_3月17日(木) 15時30分	第92回-理事会	乳業会館 3階 A会議室
2022年_4月21日(木) 14時	第93回-理事会 第31回-通常総会	乳業会館 3階 A会議室 乳業会館 3階 B/C会議室

四半期-運営委員会

開催日時	会議名	開催場所
2021年_5月19日(水) 15時	第1四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室
2021年_8月25日(水) 15時	第2四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室
2021年11月17日(水) 15時	第3四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室
2022年_2月16日(水) 15時	第4四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室